

KYOTO UNIVERSITY SYMPOSIUM FOR THE ESTABLISHMENT OF SUSTAINABLE CAMPUSES 2023  
京都大学 サステイナブルキャンパス構築シンポジウム 2023

# 次世代社会に向けた 環境調和型キャンパスの構築

— 需要側調整力を活用した再エネ普及拡大への取組事例 —



参加  
無料

2023 3/8 水  
15:00~16:10

会場 オンライン開催

お問い合わせ

京都大学施設部環境安全保健課サステイナブルキャンパス推進室  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL : 075-753-2365 FA X : 075-753-2355  
E-mail : [sc-symposium@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:sc-symposium@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

参加登録

事前にオンライン参加登録  
後日ウェビナー参加URLを送付

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeYbzI72Rx6VTNWOCxwk-ko\\_j1-rmhvvyIQ59QzqTKKn\\_qZQg/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeYbzI72Rx6VTNWOCxwk-ko_j1-rmhvvyIQ59QzqTKKn_qZQg/viewform)



01 [ 再エネ普及拡大への取組み  
~大容量蓄電NAS電池による需要側調整力の活用~ ]

日本ガイシ株式会社 エネルギー&インダストリー事業本部  
エネルギー営業統括部 営業部  
ES営業企画グループ マネージャー

小森 泰友

02 [ 電炉こそ、できる。  
~再生可能エネルギー活用への新たな挑戦~ ]

東京製鐵株式会社 総務部総務部長代理

津田 聰一郎

2013年度より毎年開催してまいりました京都大学の「サステナブルキャンパス構築シンポジウム」は、今回で9回目を迎えることになりました。本シンポジウムはこれまで、持続可能な大学キャンパス構築に向けた情報交換の場、最新事例の紹介の場として開催してまいりました。

グリーンTRANSフォーメーション(GX)を実現するための省エネルギー対策や再生可能エネルギー活用の一層の推進が求められており、サステナブルキャンパス構築の動きが世界的な潮流となっております。また近年は、記録的な猛暑や地震、台風、集中豪雨といった自然災害による停電の頻発に加え、エネルギーの輸入依存度の高さに起因する価格の高騰など、電力供給網をはじめとする社会インフラの大きな課題が浮き彫りとなっています。GXを実現させるとともに、自然災害やエネルギー価格の変動にも柔軟に対応できるような施設整備の必要性が高まっており、本学においても、再生可能エネルギーの高度なマネジメントによるエネルギーの地産地消を通じ、環境負荷低減と減災に資する取組を継続的に実施してきました。

今回のシンポジウムは、「次世代社会に向けた環境調和型キャンパスの構築」をテーマに、「需要側調整力を活用した再生可能エネルギー普及拡大」に焦点を当て、当分野での実績をお持ちの専門家からご講演をいただきます。オンライン形式ですが質疑応答・パネルディスカッションの時間も設けておりますので、どうか奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本シンポジウムが持続可能な大学キャンパスに向けた、新たな取組を生み出す契機となれば幸いです。

京都大学副学長 環境安全保健機構長  
米田 稔

## プログラム

司会 松井 康人

京都大学環境安全保健機構 教授

15:00~15:05 **開会挨拶** 米田 稔 京都大学  
副学長(安全・衛生担当) 環境安全保健機構 機構長

15:05~15:45 **講演1** 小森 泰友 日本ガイシ株式会社  
エネルギー&インダストリー事業本部 エネルギー営業統括部  
営業部 ES営業企画グループ マネージャー

### 「再エネ普及拡大への取り組み ～大容量蓄電NAS電池による需要側調整力の活用～」

**講演2** 津田 聡一郎 東京製鐵株式会社 総務部総務部長代理

### 「電炉こそ、できる。～再生可能エネルギー活用への新たな挑戦～」

15:45~16:05 **パネルディスカッション**

16:05~16:10 **閉会挨拶** 新保 昌人 京都大学施設部長

## 講演者紹介

講演  
1



日本ガイシ株式会社  
エネルギー&インダストリー事業本部  
エネルギー営業統括部 営業部  
ES営業企画グループ マネージャー

**小森 泰友**

滋賀大学経済学部卒。

日本ガイシ入社後、蓄電池のマーケティングおよびNAS電池の国内営業を担当。再生可能エネルギーの更なる有効活用やカーボンニュートラル社会への貢献に向けた蓄電池の活用提案などに従事。

講演  
2



東京製鐵株式会社  
総務部総務部長代理  
(購買・広報管掌)

**津田 聡一郎**

早稲田大学教育学部 社会科社会科学専修卒。

電炉最大手の鉄鋼メーカー「東京製鐵」で主原料の鉄スクラップ購買と広報を統括。近年「脱炭素」と「資源循環」の流れが強まる中、自社の果たす役割の大きさをPRする機会も多い。元NHKアナウンサー。